

「事業名：“オール近大”川俣町復興支援プロジェクト」 2019年度事業の概要

近畿大学 連携市町村：川俣町

連携市町村との協定締結日：平成29年5月16日 現地拠点：伊達郡川俣町役場西分庁舎

事業のポイント

「マイナスからゼロへ」という被災からの再生支援と「ゼロからプラスへ」という復興支援の2本の柱を基本とし、川俣町民の意見を取り入れつつ、学生の知を組織的に活用した復興支援を実行し、一つの復興モデルを構築する。

2019年度の活動内容

原子力研究人材の育成

- ・山林の放射線環境測定と環境試料採集
- ・ため池周辺の放射線環境測定と土壌試料採集
- ・町内のモニタリングポストとその周辺での線量率測定
- ・山菜、きのこ、魚などを採取・測定

調査

提言

放射線による健康不安の緩和調査
川俣町全域

川俣町産業振興プロジェクト (ものづくり)

近大ものづくり工房

技術/ニーズの発掘

川俣町内企業

川俣高校

体験型
ワークショップ開催

モノづくり
体験塾開催

産業振興と雇用創出に向けた継続的な取り組みが可能な体制を提言

川俣町産業振興プロジェクト (農業振興・特産品開発)

農学部を中心としたグループ

役場
農業振興公社
農家
食品企業
等

共同でメニュー開発

スタディーツアー
学内販売・卒業生向けの商品
企業とのコラボレーション

川俣産食品の利用拡大

川俣町産業振興プロジェクト (集落復興)

経済学部
総合社会学部
国際学部

役場
山木屋地区
町組行政区

フィールドワーク

フィールドワーク結果の分析
問題点の洗い出し
地域の特色を活かした観光資源開発
住民定着の施策提言

継続的な取り組みが可能な施策を提言

取り組みによって得られる成果

除染研究

- ・参加者全員が川俣町の復興を望み、その道筋について考える機会となる。

産業振興

- ・ものづくりに活躍しうる人材を発掘することにより地域発展の促進を図ることができる。
- ・川俣町で生産された農畜産物を活用した商品開発やメニュー開発を行い、それらの販売や提供を実際に行うことで、農業をはじめとした川俣町の地域産業の振興に寄与する。
- ・旧来の発想とは異なった新しい視点で生み出される知見を町へ提言する。